

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

1 基本方針

入居者の尊厳を守り、安心して生活できる環境とサービスの提供に努めます。

人材育成に努め、よりよいサービスが提供できるよう努めます。

共生社会の一翼を担い、地域福祉の推進と信頼される施設づくりに努めます。

2 今年度重点事業目標

(1) ユニット型施設の特徴を活かした安定的経営

ア 「個室」の特徴を活かし、入居者のプライバシーを確保するとともに「リビング」で他者との交流や趣味の時間を楽しめる場を提供できるよう努める。

イ 一人ひとりに合わせた丁寧なケア(個別ケア)を行い、安心して普段の生活が営めるよう努める。

ウ 短期入所生活介護事業を窓口として、地域の病院、施設、居宅介護支援事業所と連携しながら、困っている高齢者及びその家族に迅速に必要なサービスの提供を行う。これにより地域社会に貢献するとともに、施設経営の安定化(入所稼働率96%、短期入所稼働率95%)を図る。

(2) チームや多職種連携により安全・安心で質の高いサービスの提供

ア 科学的介護情報システム(LIFE)を活用し、多職種連携のもとPDCAサイクルにより科学的な根拠に基づくケアを実施し、より質の高いサービスの提供に努める。

イ 入居者の人権を守り、虐待、身体拘束、事故防止に取り組む。

ウ 認知症等によりコミュニケーションが難しい入居者の気持ち寄り添ったケアに努める。

エ 多職種が連携し、口腔ケア、適切な食事形態、姿勢の調整等で誤嚥性肺炎を予防するとともに、生活リハビリなどの楽しみとなじみのある活動を通して、重度化予防と機能維持に努める。

オ 胃ろう注入や喀痰吸引等医療行為が必要な方に、安全な医療的ケアを提供する。

カ 家族や職員間の連携を密にし、その人らしい看取り期のケアが提供出来るよう努める。

(3) 組織力強化のための人材確保、人材育成、離職予防

ア 仕事への意欲向上や仕事のやりがいを感じる職場環境に努める。

イ 職種、階層別の研修を受講し、知識・技術の習得と職員の資質向上に努める。

ウ 介護福祉士等の資格取得を推進する。

(4) 家族交流と地域福祉の推進

ア 入居者の希望により外出行事を行い、家族や地域との交流を図る。

イ 敬老会や秋祭りなど施設の大型行事をとおして家族や地域住民、ボランティアとの交流を図る。

ウ 居宅介護支援事業は、地域と連携を図り、地域で在宅生活を支えるという視点で支援に努める。

(5) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実

ア ICT機器(見守り支援システム・介護記録ソフト)を活用し、介護の負担軽減と入居者の安全・安心な環境作りに努める。

イ 子育て、家族介護の支援など、ワークライフバランスを意識した働きやすい職場作りに努める。